

成人式

令和四年 一月十日

今回、厚木市文化会館大ホールで行われた「はたちのつどい」に参加させていただき、貴重な経験を積ませてもらうことができました。

ジュニアリーダーは、舞台係と総務補助の二グループに分かれて行動しました。私は舞台係として、アトラクションに伴う準備、移動、つば花やスタンド花の解体・花束の作成などをしました。

今年の「はたちのつどい」は新型コロナウイルス感染拡大に伴い感染防止対策を講じたうえで三部制に変更となり、式典時間も短縮となったため、ジュニアリーダーの私たちは新成人の方々と顔を合わせることはありませんでした。ですが、窓から外を見たときに何人もの新成人の方々が顔をほころばせていたのが今でも印象的です。

そんな貴重な経験も、多くの関係者の方々や実行委員の方々から意見を交わし合い対策を練ってくれたからこそだと思います。とてもいい体験をさせてもらいました。これからジュニアリーダー活動にいかせていけたらと思います。

四十二期 祝田



20歳

総務補助グループは、お弁当の仕分けを行いました。お弁当の仕分けはお弁当の種類の名前が書いていなかったため、難しかったです。ですが、無事に届けられて良かったと思います。

四十二期 湯浅

大人の方から

Let's all work together

ジュニアリーダーの皆さんの活動へのご協力に心から感謝しています。学校、部活、塾と忙しい中での活動は本当に大変だと思います。空いている時間にみんなで集まり、研修への企画運営を考えているところを身近で見ているかと思うんです。

コロナ禍で地域の活動も制限されている中、研修をどうしたらできるかを考え感染防止対策を徹底しゲームのやり方を熟慮し研修も実施できました。この二年間で皆さんは対応力、変化に強いチームワーク力を習得したジュニアリーダーだと感じました。

どのような状況でも頑張っってほしいと思っっています。そして皆さん、笑顔を忘れずに楽しく活動していきましょう。

厚木市青少年指導員連絡協議会会長 川田

上級養成研修会

令和四年 三月十二日・十三日

一日目はアイスブレイクから始まり午後からは講義や模擬地区会と模擬連協が行われました。他にも子どもが対象の依頼を企画しました。

二日目もアイスブレイクから始まりグループワークでは、ドラえもんの道具の中で一番欲しいものを話し合いました。午前の全体共有では地区会の参加者を増やすために連絡をまわす、報連相をしっかりとするという意見になりました。依頼の参加者を増やすためにはジュニアリーダーを増やす、魅力を伝える、参加しやすい環境を整えるという意見になりました。

午後の全体共有ではラインの活用方法について話し合いました。いろんなディスカッションやアイスブレイクがあり楽しかったです。改善点を活用してこれからのジュニアを頑張っていきたいです。

四十二期 小原

厚木市ジュニアリーダーズクラブの皆さん、いつも子ども会の活動に対しご協力いただきありがとうございます。この約二年間は、新型コロナウイルスの影響でイベントなどが制限され、活動もままならない日々が続いているかと思うんです。

しかしながら、その厳しい中、感染防止の工夫をして研修などを実施している姿を拝見させていただいた時には敬服させられました。四年以上の長きにわたる先輩から後輩へと受け継いでいる活動と精神をこのコロナに負けず、次世代のジュニアリーダーにしっかりと繋ぎ、これからも明るく元気に活動が続け「大人」と子どもとの架け橋」として厚木市の子どものため、に、さらには、地域のリーダーとして大いに力を発揮してください。

活動から得た経験、成果、精神、絆などは、皆さんの生きる力に間違いなく残ります。ただし、その裏には、いつも支えてくださっている青少年指導員さんや相談役の方々がいるということを忘れないでください。

ジュニアリーダーの皆さんは、いつも子どもたちを笑顔にしてくれているかっこいい素敵なお兄さん、お姉さんです。これからもずっとそうあり続けてください。

厚木市ジュニアリーダーズクラブのますますの発展をお祈り申し上げます。

厚木市子ども会育成連絡協議会会長 石澤

かっこいいお兄さん、お姉さんへ

第12号 令和4年4月17日発行
発行者 厚木市ジュニアリーダーズクラブ 広報部会
協力 厚木市青少年指導員連絡協議会広報部会 青少年課

奇跡の軌跡

各部会から

日頃よりジュニアリーダー活動にご協力くださりありがとうございます。

私はあばしり青少年自然文化体験研修に参加した時にジュニアリーダーを知り、憧れて中学一年生から五年間活動してきました。地区の依頼や市の案件ではいろいろな人と出会い、関わりながら楽しく活動できたと思います。また研修会においては自分の技術を高めるとともに他地区の人と交流することができました。

高校生（カウンスラー）になってからはコロナ禍という、思うようにいかない中で活動になってしまいました。残念な思いもありましたが研修会など、自分たちがもっている技術を後輩に教えることができたので良かったです。

五年間、地域の方などたくさんの人と関わりながら楽しんで活動することができました。ありがとうございました。

これからもジュニアリーダーの活動にご協力いただけると幸いです。

令和三年度厚木市ジュニアリーダーズクラブ連絡協議会会長 福井結生

昨年度に引き続き今年度も新型コロナウイルスの影響で研修会が少なくなり、例年とは変わった一年でした。その中で行われた研修会や依頼は、感染対策で工夫されているものが多く見られました。その工夫点などを通して、行われた事業の感想がまとめられているので、ぜひその点に注目して読んでいただければと思います。

集まることも難しくなってしまうことが、無事「奇跡の軌跡」を発行できてうれしく思います。協力してくださった皆様ありがとうございます。この広報誌で活動の楽しさなどを感じてもらえたら嬉しいです。

これからもジュニアリーダーの広報誌をよろしく願います。

広報部会長 渡邊

今年度も新型コロナウイルスの影響でジュニアリーダーズクラブへの地区や市からの依頼がほとんどありませんでした。その中でもレクリエーション研修会を開催することができました。感染拡大を考慮し、小規模での開催となりましたが、研修生とカウンスラーの皆さんには人数上限を設けた上で活動させていただきました。

活動していくうえで、感染症がない状況では出来なかった貴重な経験を積むことができました。学校での感染が確認された次第数日間活動を自粛し、それを補いつつ進めていかなければならず、会議をするには厳しい環境下でした。

しかし、この大変な状況下でもメンバーもという仲間と協力すれば大成功とまではいかずとも成功させることができました。最後になりましたが、感染防止を留意しつつという大変な状況での活動でしたが、その中でも協力していただいた皆様本当にありがとうございます。

活動部会長 高足

今年度の総務部会では、ジュニアリーダー活動についての申合せ事項の見直しを行いました。主に、活動中の服装や携帯電話の使用について話し合いを行いました。

服装については人によって認識が異なるため、よく申合せ事項を見て判断してほしいです。また、自分で判断することが難しい場合は周りのジュニアリーダーや青少年課など話しやすい人に相談してほしいです。

携帯電話の使用についてはスケジュール確認、検索など必要な時に許可を得た場合や、指示が出た場合のみTPOをよく考えて使用するようによいでしょう。

総務部会代表 小林

日頃からジュニアリーダー活動にご協力いただき、誠にありがとうございます。

誰も経験したことのないコロナ禍での活動も三年目に突入してしまいました。この二年間、カウンスラーたちを中心に、厚木市ジュニアリーダーズクラブでは数々の研修会を開催してきました。最初は「ふれあい」ができない中でジュニアリーダー活動の難しさに直面し、活動が全くできない時期もありました。活動が再開されても制限が非常に多く、地域や市のイベントは次々に中止となり、今まで行ってきた活動すればいいのかが、カウンスラーや育成者の方々と頭を悩ませました。

地域や市のイベントが全く開催できないこと、ジュニアリーダーの活動の場の多くがなくなってしまうことが、このままではこれまでに積み上げてきた知識や技術が途絶えてしまう！地域での活動が再開する日のために、後輩ジュニアリーダーたちが立ち上がり、感染対策をしっかりと講じて一生懸命に工夫を凝らして、様々な研修会を企画・運営してくれました。研修会の実施方法を一から見直し、対人距離の確保や消毒作業等を取り入れ、安全に開催できる方法を何度も模索しました。

また、地域の活動や地区会等で活用できるように、感染対策について研修生たちに繰り返し伝えてきました。一見接触なしではできないようなゲームも、ルールを変えたり道具を使ってアレンジしたりすることで、コロナ禍でもできるゲームの種類を増やしていきたいです。

研修会を通してジュニアリーダーの技術を継承してくれているカウンスラーたちはもちろん、地域のジュニアを支えてくれている各地区の会長・副会長たち、地域で活動できる日に備えて研修会で技術を磨くジュニアリーダーたち、みんなに感謝の気持ちでいっぱいです。

未だ市や地域のイベントの多くが実施できておらず、中々思うように活動ができない状況ではありますが、今までみんなが感染対策をしっかりやりと頑張ってきたおかげで、クラスターの発生もなく、今日もジュニアリーダーの活動が続けることができています。新しい日常の中でできることを探しています。新しい日常の中でジュニアリーダーがイベント等で活躍できる機会を作っていきたいと思っっていますので、今後ともご協力をお願いします！

こども未来部青少年課青少年育成係
ジュニアリーダー担当 大久保 咲紀

カウンセラー養成研修会

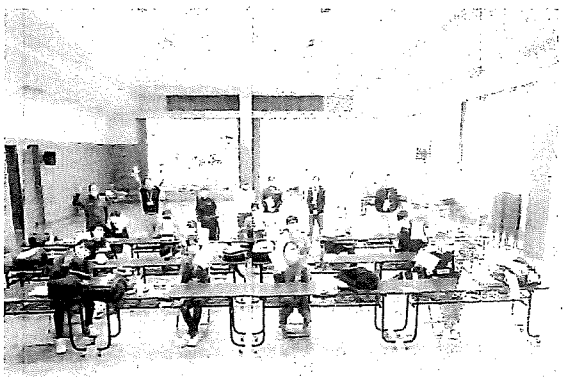
令和三年 四月二十四日
・二十五日
五月二十九日

二十四日は主に、ジュニアリーダーカウンセラーとしての在り方や基本事項などの講義を通して学びました。これからカウンセラーとしてみんなの手本とならなければいけない自分たちが何を常に意識し、行動しなければいけないのか、改めて考えることができました。

二十五日は、野外炊事や研修会について学びました。野外炊事では、うまくいった班、そうでない班がありました。それも含めて良い経験になったと思います。研修会については、カウンセラーの先輩方がどのように研修会を作るのかなど教えてくださり、自分たちの研修会をつくるうえで大切なことを学ぶ事ができました。

別日では、ゲーム研修を行いました。実際にゲームを行い、お互いのゲームの良かったところ、改善すべきところなどを伝え合うことで、客観的に見た自分の姿を知ることができ、その後の活動を向上させることができたと思います。

四十一期 湯之上



私は、この研修会を通して、ジュニアとは何か、そして、ジュニアリーダーの活動の楽しさが分かりました。

今回の研修会に講師として来てくださった元ジュニアリーダーの林田さんにゲームのノウハウを教えてもらいました。今まで自分より先輩のカウンセラーにゲームの進捗とかは教えてもらったのですが、今回の研修会でジュニアとは何かを全て教えてもらいました。新型コロナウィルスの影響で私たちの代のこの研修会は七沢自然ふれあいセンターとシティブラザの二日間泊まりではなかったのですが、とても充実した研修会でした。

これからも研修会で学んだことを生かして、後輩のジュニアの育成や地区、そして厚木市の活動も頑張っていきたいと思っています。

四十二期 穴戸



スキルアップ研修会

令和三年十月十六日
二十三日

二週にわたり行われたこの研修会。主にカウンセラーのゲームスキルの向上を目的に行われました。講師は、三十九期のカウンセラーの方でした。この研修会は「ゲームの流れの組み立て」に特化した研修が行われました。まず研修生が行ったのは、ゲームの山立て（テンションや時間を考慮しつつ、レクリエーションの流れを計画すること）。自分と同じ学年のカウンセラーの役割分担まで、一人で計画していきました。カウンセラー同士で得意不得意を共有しているか、どこまでゲームの最終に想像力を働かすことができるかが試される研修会でした。

次に、研修生同士で一つのゲームの山を立て、実際に流れに沿ってゲームを行いました。見落とされがちなのが、ゲームとゲームの「繋ぎ」、そしてゲームの山の中で一貫したストーリーをもたせること。この研修会では、クリスマスにちなんだ話を交えつつ、ゲームを進めました。

一般的な研修会では触れることの少ない、ゲームの流れにフォーカスしたスキルアップ研修会。コロナ禍の開催で小規模なものではありましたが、とても有意義な時間でした。

四十二期 才田

レクリエーション研修会

令和三年十一月十三日

今年度のこの研修会は夏季のゲーム研修会が中止になった関係で、高一・高二のカウンセラー合同で開催しました。研修会のテーマがクリスマスなので、みんなでカチューシャをつけたり、帽子をかぶったりしました。

最初のゲームではクリスマスにアレンジしたゲームを行いました。次に、研修生たちに班で分かれてもらい、それぞれの班に出したゲームを自分たちなりにアレンジしてもらいました。どの班もただゲームをアレンジするのではなく、KYTやコロナ対策など様々な視点から、ゲームを考えることができて良かったと思います。

今回は実際に研修生たちがゲームをすることはなかったけれど、ゲームをするうえで何を意識すべきか、ということを知ることができたと思います。そしてアレンジしてもらったゲームをカウンセラーが実践しました。

そしておたのしみのプレゼント交換会！今回はピンゴを使って、上がった人から好きなプレゼントを選んでいきましました。ゲームからのプレゼント交換ということもあり、とても盛り上がりましました。

今回の研修会では、班の一人一人がゲームをより楽しく、より良い形にするにはどうすればいいかというのを考えることができ、ゲームへの理解度が高まったうえで他地区、他学年間も交流を深めることができたと思います。

四十二期 柏木

初級養成研修会

令和三年 七月十日・十一日

この研修会はジュニアリーダーの基礎を学び、他地区の仲間を作ることが目的です。初めてジュニアリーダーの研修会に参加する研修生も多いので、知識をつけつつ、班や全体で仲を深めることができるよう、アイスブレイクゲームをはじめ、報連相などの講義の間にもゲームをしたり、キャンドルファイヤーで盛り上がり、ゲームを多く取り入れたプログラムにしました。はじめは研修生もカウンセラーも緊張した雰囲気でしたが少しづつ打ち解け、二日目の野外炊事には研修生同士や、カウンセラーとも仲が深まってきました。

今回がカウンセラーとして初めての研修会だったこともあり、会議で入念に打ち合わせをしていましたが、当日は緊張して思ったとおりにいかないところもあり、なんとかやり切った印象でした。

課題が多く残った研修会でしたが、カウンセラーとして成長していくためにも、良いスタートになったと思います。

四十二期 高橋

中級養成研修会

令和三年 十二月十八日・十九日

一日目はアイスブレイク、班会議、講義、キャンプファイヤーを行いました。私が特に印象に残っているのはグループワークの山立てです。

水族館をテーマにゲームをアレンジしているグループがあって、なるほどとしか出てこなくて逆に私が学ばせていただきました。キャンプファイヤーも大人の方が潜入して笑いが起こりながら楽しくできました。

二日目は野外炊事、グループワークの発表でした。野外炊事で作ったのは豚汁とご飯。そしてこの日はすごく寒くて火が起きてもみんな震えていました。

寒い中食べる温かい豚汁とご飯、とても美味しく体にしみました。そしてこの後が地獄でした。冷たい水に耐えながらの片付け、洗い物。そして鍋、調理器具、かまど、水回りをカウンセラーと大人の方で厳しくチェックしました。寒い中、頑張った洗った研修生たちにやり直しというの心がとても痛かったのですが、みんな本当に頑張ってくれました。

そして中級研修会は終了しました。新型コロナウィルスが流行ってからの宿泊は初めてで四十一期のカウンセラーも緊張しました。

そんな日々の研修会にも関わらず、私は日々の会議にでられないで、たった一回参加してすぐ当日となりとても不安でした。ですが四十一期のカウンセラーたちや大人の方々が色々サポートしてくださり、何とかカウンセラーを務められたかなと思います。

四十一期 荒井

おたのしみ研修会

令和四年 三月十九日・二十日



一日目は『さくらんぼ』などのダンス、ティールボール。そして、高一から送別会を行いました。班対抗のティールボールでは、各チーム白熱したゲームを行うことができました。楽しかったです。みんな段々とコツを掴んでいき、最後には、全員が大歓声をするほど盛り上がりましました。また、高一からの送別会では、しっかりと感謝を伝えることができました。

二日目は、野外炊事でカレーうどんを作りました。その後、しっぽ取り・サッカー・ドッジボールをしました。野外炊事では、各班で協力して美味しいカレーうどんができて、黙食という形ではありましたが、楽しく食えることができて良かったです。片付けは、各班で協力して行うことができ、鍋の片付けまで、しっかりと時間内に終わらせることができました。

その後のゲームでは、一日目と野外炊事で溜まった疲れが見えるところもありましたが、最後まで、一人一人が活躍するゲームを行うことができました。両日ともとても楽しく、思い出に残る研修会にすることができました。

四十二期 浅倉

私たち高二のジュニアリーダー・カウンセラーとしての活動の節目となる研修会、おたのしみ研修会を三月十九日・二十日に行いました。私たち四十一期が現役最後の研修会として、私たちが、参加してくれた研修生たちが、楽しめるようにプログラムを考え、全力でやり尽くしました。

一日目はアイスブレイクにレクタン、そして高一からの送別会。アイスブレイクではみんなが楽しんでくれ、時間を忘れて予定が押してしまふほどでした。レクタンはミュージックアワーなどの私たちが一年生から親しんだ踊り。

高一からの送別会では私たちが全力で楽しませてくれ、高一の成長を感じました。二日目は野外炊事とスポーツ大会。野外炊事では各班がそれぞれ作ったカレーうどんを美味しく食べて成功に終わりました。

スポーツ大会では班対抗のドッジボールとドッジボール。昨日のレクダンの疲れがありましたみんなが楽しんでやっています。カウンセラーはドッジボール・ドッジボール共に負けが多かったのですが、ドッジボール四十一期・四十二期対抗戦では勝つことができ、先輩としての威厳をどうにか保てました。最後は二、四班と一、三班に分かれて全員でドッジボール、最後を楽しく締めくくることができました。

両日とも私たち、研修生たちが楽しんでくれて、有終の美を迎えることができました。

四十一期 井上

